

## 子宮筋腫ってなあに？

子宮体部の筋層部は、平滑筋と言う筋肉で構成されています。そこに発生する良性の腫瘍を「子宮筋腫」と言います。子宮筋腫が大きくなるには「エストロゲン」という女性ホルモンが大きく関わっています。婦人科の病気の中でもポピュラーな病気です。

生殖年齢(30～40歳代)の女性の4～5人に1人(20～25%)の割合で発生します。ほとんどは子宮体部に発生し、多発する(何個も出来る)事が多く、悪性化する事は0, 5%以下と言われています。また症状が無ければ経過観察をすることが多い病気でもあります。



では、どんな症状が出るのでしょうか？ 過多月経(月経量が極端に多い)による高度な貧血や圧迫症状(大きくなった子宮筋腫が回りの臓器を圧迫する)、痛み(主に月経痛)、不妊症(着床障害)などがあげられます。

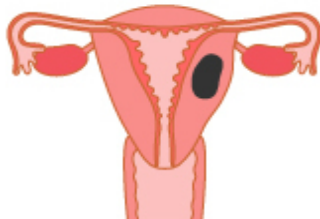
### \* 子宮筋腫のタイプと症状 \*

子宮の漿膜下に発生  
漿膜下筋腫



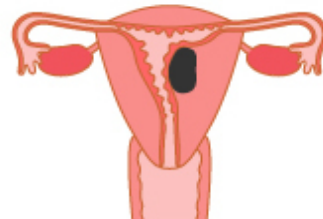
漿膜下筋腫

子宮筋層内に発生  
筋層内筋腫



筋層内筋腫

子宮の粘膜下に発生  
粘膜下筋腫



粘膜下筋腫

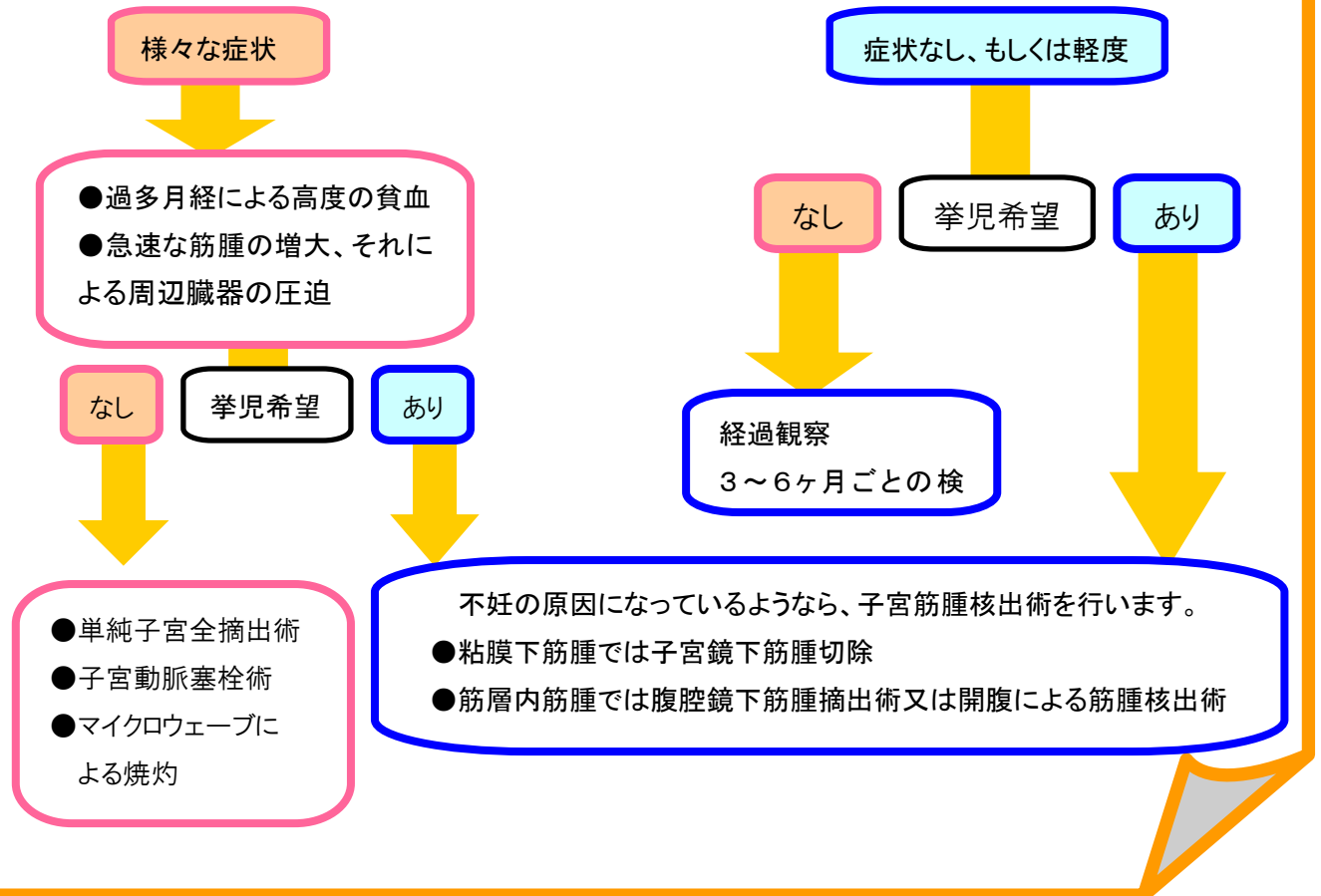
<http://kinsyu.cv-maria.com/>

過多月経	△	○	◎
不性出血	△	○	◎
月経困難	△	○	○
圧迫症状	○	○	△
不妊症	△	○	◎

◎・・・強くみられる    ○・・・みられる    △・・・みられることがある


\* 裏で、治療の全体像を示していますのでご覧下さい。

\* 症状が強い場合に行う治療の全体像 \*



上記のような治療法があります。

気になる方は一度医師に相談してみてもはいかがでしょうか？

担当:(看護部) 小菅  · 石井 